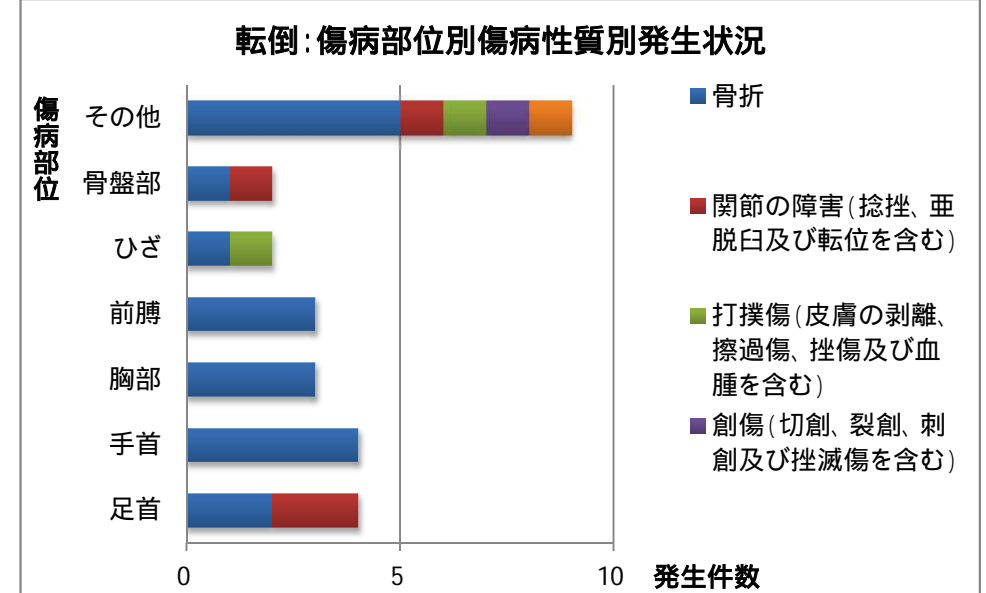
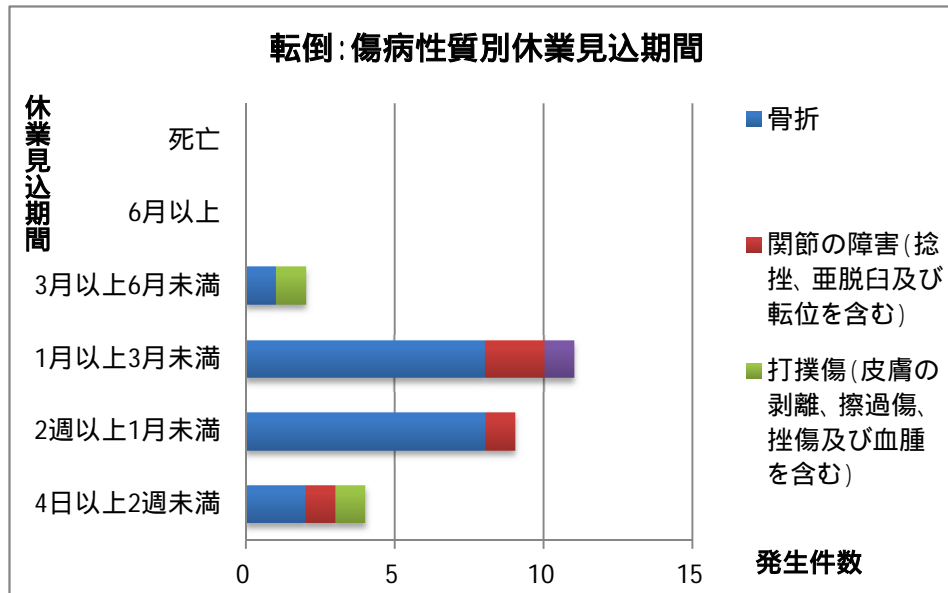
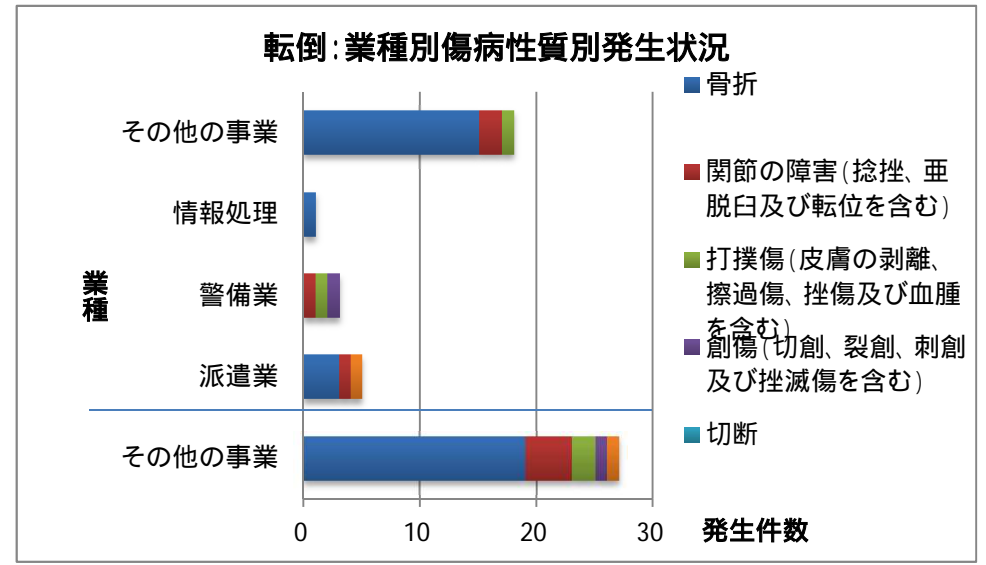
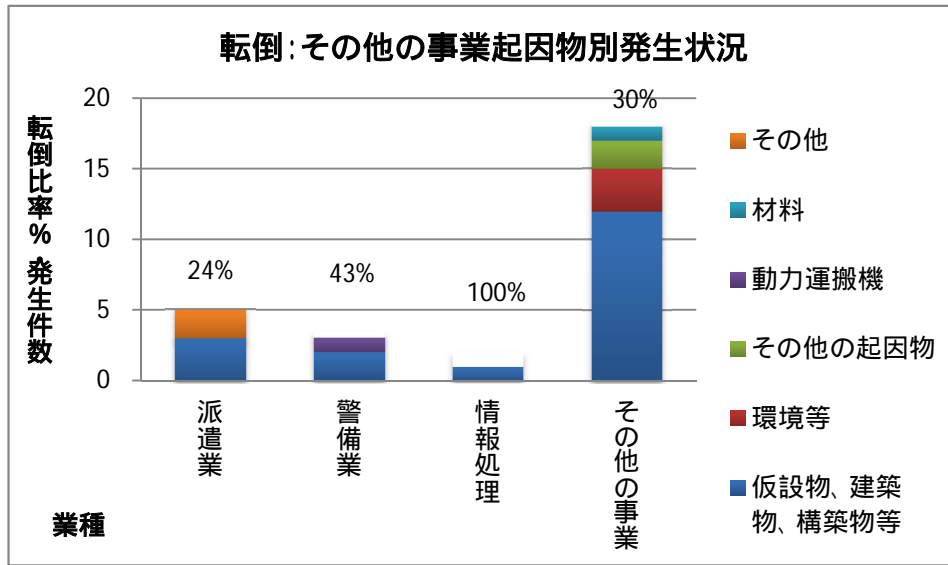
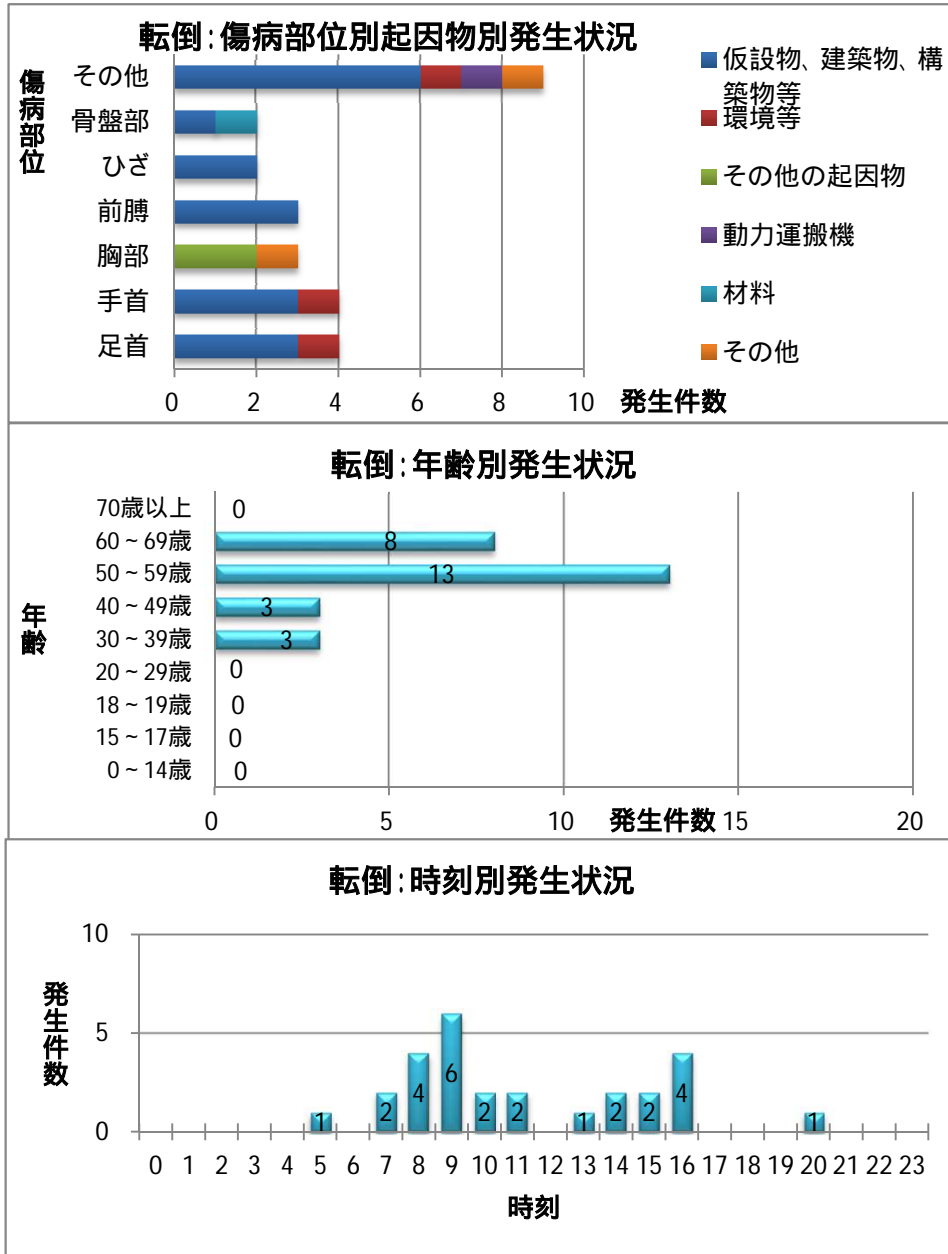


宮崎労働局: その他の事業における転倒災害の状況





転倒災害事例(平成26年発生分)	
清掃作業中、床拭きをしている場所で足を滑らせて転倒し、手首を骨折した。	
通路でワックス入りのモップを使って清掃していたところ、足が滑り転倒し、膝を骨折した。	
レールの上を移動していたコンテナがレールから落ちそうになっていることに気づき、注意がそがれた瞬間、足が滑り転倒し、持っていたコンテナと床の間に手をはさまれ、手首を骨折した。	
強い雨の日、構内を高さ6cmのハイヒールを履いて移動中、足首をひねり転倒し、足首を捻挫した。	
車の脇をぎりぎりを通り過ぎようとしたところ、着用していた蛍光ベストの背中部分が車のミラーに引っかかり転倒し、壊れたミラーで背中を切創した。	
現金輸送時、車の周囲を点検していたところ、溝にかぶせてあった蓋の隙間に足を入れてしまい転倒し、足を捻挫した。	
5m離れた電話が鳴ったため、急ぎ足で移動中、清掃中で床が濡れて庵、足を滑らせて後ろ向きに転倒し、手首、肋骨を骨折した。	
一輪車でゴミを運ぶ際、歩行者を避けようとしたところ、地面が砂であったため、バランスを崩し、無理な姿勢になり転倒し、胸椎を骨折した。	